

日本イギリス哲学会

第43回総会・研究大会

プログラム・報告要旨

Japanese Society for British Philosophy

Programme of the 43rd Annual Conference

at Hiroshima International University

期 日 2019年3月29日（金）・30日（土）

会 場 広島国際大学 広島キャンパス

（広島県広島市中区鞆町1-5）

第1日 2019年3月29日(金)

9:30～	受付		8階エレベータ前
10:00～11:00	総会		8階800教室
<hr/>			
11:00～12:00	会長講演		8階800教室
		Williamson on Thought Experiments 一ノ瀬正樹(武蔵野大学) 紹介者:成田和信(慶應義塾大学)	
<hr/>			
12:00～13:00	昼食・休憩		
<hr/>			
13:00～15:20	セッションI		8階801教室
		アイザイア・バーリン研究の現在 司会:高田宏史(岡山大学)	
13:00～13:05	趣旨説明	高田宏史	
13:05～13:35	第1報告	思想の力:バーリンにおける政治理論とインテレクチュアル・ヒストリー 小田川大典(岡山大学)	
13:35～14:05	第2報告	規範理論家としてのバーリン:冷戦リベラルからリベラルリアリストへ 山岡龍一(放送大学)	
14:05～14:20	第1討論者	濱真一郎(同志社大学)	
14:20～14:35	第2討論者	森達也(早稲田大学)	
14:35～14:45	ティー・ブレイク		
14:45～15:00	リブライ		
15:00～15:20	全体討論		
<hr/>			
13:00～15:20	セッションII		8階804教室
		18世紀イギリスの知覚論と常識の関係性 司会:萬屋博喜(広島工業大学)	
13:00～13:05	趣旨説明	萬屋博喜	
13:05～13:30	第1報告	バークリの非物質論における常識——彼の知覚論との関連で—— 山川仁(京都大学)	
13:30～13:55	第2報告	「一般人」はどのような意味で誤っているのか ——ヒュームの投影主義についての一考察—— 豊川祥隆(京都看護大学)	
13:55～14:20	第3報告	トマス・リードにおける感官の欺きと常識の役割 中元洸太(京都大学・院)	
14:20～15:15	全体討論		
15:15～15:20	総括	萬屋博喜	

15:30～17:30	シンポジウム I 甦るフィルム——近代社会哲学の源流再考—— 司会：青木滋之（会津大学）、小林麻衣子（防衛大学校）	8階 800 教室
15:30～15:35	発 題 青木滋之	
15:35～16:05	第 1 報告 フィルマーは何をしたのか——歴史的・理論的コンテキストのなかで—— 古田拓也（慶應義塾大学）	
16:05～16:35	第 2 報告 フィルマーの契約論批判の射程 小城拓理（愛知学院大学）	
16:35～16:40	コメント 1 古田拓也	
16:40～16:45	コメント 2 小城拓理	
16:45～17:25	質疑応答	
17:25～17:30	総 括 小林麻衣子	

18:00～	懇 親 会	幟町カフェ(15階)
---------------	--------------	-------------------

第2日 2019年3月30日(土)

8:30～ 受付

9:10～12:00 個人研究報告(報告35分、質問15分)

第1会場

8階801教室

- 9:10～10:00 R・G・コリングウッドの知覚論
春日潤一(LEC会計大学院)
司会:中釜浩一(法政大学)
- 10:10～11:00 道徳的葛藤への対処をめぐる思考のあり方
——R・M・ヘアの道徳哲学に対する批判的検討を通して——
白杵龍児(日本大学・院)
司会:佐藤岳詩(熊本大学)
- 11:10～12:00 アイザア・パーリンとプラグマティズム——価値多元論形成の一局面——
森達也(早稲田大学)
司会:山岡龍一(放送大学)

第2会場

8階802教室

- 9:10～10:00 実体について——『人間知性論』第2巻第23章の一解釈——
竹中真也(中央大学)
司会:瀧田寧(日本大学)
- 10:10～11:00 ロックの類推論——『人間知性論草稿』から『人間知性論』まで——
青木滋之(会津大学)
司会:矢嶋直規(国際基督教大学)
- 11:10～12:00 ロックの証言について
春日亮佑(東京大学・院)
司会:久米暁(関西学院大学)

第3会場

8階803教室

- 9:10～10:00 ロックとキケロにおける自然法と義務
——生得観念説批判と先取観念論批判の比較を通して——
内坂翼(国際基督教大学・院)
司会:佐々木拓(金沢大学)
- 10:10～11:00 ジョン・ロックの刑罰論——自然権としての処罰権——
渡邊裕一(学習院大学)
司会:今村健一郎(愛知教育大学)
- 11:10～12:00 Forgetting and its Epistemic Importance
櫻木新(芝浦工業大学)
司会:伊勢俊彦(立命館大学)

第4会場**8階804教室**

- 9:10～10:00 フランシス・ハチスン『道徳哲学体系』における理論の一貫性について
——人間本性に関する分析と自然法学に対するその適用に関して——
太田浩之（一橋大学・院）
司会：柘植尚則（慶應義塾大学）
- 10:10～11:00 ヒューム『人間本性論』における観念の表象性の自然主義的解明
大槻晃右（同志社大学・院）
司会：勢力尚雅（日本大学）
- 11:10～12:00 ハーバート・スペンサーにおける倫理思想——『人間 対 国家』を中心に——
久野真隆（慶應義塾大学・院）
司会：児玉聡（京都大学）

12:00～13:00 昼食・休憩**13:00～17:00 シンポジウムⅡ 8階800教室**

ケインズ・ウィトゲンシュタイン・ハイエク
——不確実性の時代の秘められた知的連関——

司会：久米暁（関西学院大学）、佐藤方宣（関西大学）

- 13:00～13:10 発 題 久米暁
- 13:10～13:40 第1報告 ケインズにおける不確実性と慣習——邦語文献の独自性を中心に——
小峯敦（龍谷大学）
- 13:40～14:10 第2報告 ウィトゲンシュタインにおける確実性と不確実性
大谷弘（武蔵野大学）
- 14:10～14:40 第3報告 ハイエクにおける不確実性とルールの根源をめぐって
——「感覚秩序」と「自生的秩序」——
太子堂正称（東洋大学）
- 14:40～15:00 ティー・ブレイク
- 15:00～16:50 質疑応答
- 16:50～17:00 総 括 佐藤方宣

17:00～ 閉会挨拶 会長・一ノ瀬正樹**8階800教室**

受 付	8階エレベータ前
会員控室	14階コミュニティ・エリア
(休憩スペース)	